

《 群馬県認知症ケア専門士会 》

群馬県では、認知症ケア専門士の有志が集まり、2006年より任意団体を立ち上げ認知症ケアの向上を目的として活動してきました。その団体は2009年にNPO法人「群馬県認知症ケア研究研修連絡協議会」となり、その後、「NPO 法人あかり」として市民後見人養成事業等を含め、他の分野の活動にも発展しています。また、2011年日本認知症学会の承認を受け、現在の「群馬県認知症専門士会」が誕生致しました。活動内容としては講演会で知識の向上だけでなく、学会の単位修得の支援もおこない、その他、事例検討会や認知症専門士受験対策講座等を行い、資格取得の支援を行っています。現在、会員は105名、役員は会長を含め13名で行っています。

活動報告

< シンポジウム >

群馬県県民健康科学大学 参加者245名

テーマ：「 終末期の医療とケアを事前指示から考える 」

来年度改正される介護保険は、「地域包括ケアシステム」の構築であり、その内容は在宅中心主義の一層の推進である。このことを終末期の医療・ケアという立場で考えたとき、従来、医療機関で担ってきた『看取り』が、介護保険施設（入居施設・居宅）での『看取り』ケアになることを意味することになり、その数は確実に増加する。そこで、今回終末期の医療・ケア・事前指示等に関する各専門的立場の人達より、介護等に携わる人達が、自身のケアを振り返り、学び今後のケアに活かすことを企画したものである。また、シンポジウムでは認知症ケアに関する職業倫理及び専門性を学ぶことにより、専門職としての意識を再確認し、よりよいケアを目指した。

内容・講師：

総合ナビゲーター 箕岡 真子氏

◎各シンポジストからの主張(各20分を目安)

- ・訪問看護師の立場から 箕岡真子氏 (医師 生命倫理専門家)
- ・医師の立場から 三浦康彦氏 (医師 野村病院副院長)
- ・家族の立場から 大沢幸一氏 (群馬県議会議員 若年性認知症ぐんま家族の会副会長)
- ・介護者の立場から 福島富和氏 (医療法人社団明正会認知症ケア研究所 認知症ケア上級専門士)
- ・法律家の立場から 小此木清氏 (弁護士 弁護士法人龍馬ぐんま事務所)

◎フロアーとのディスカッション

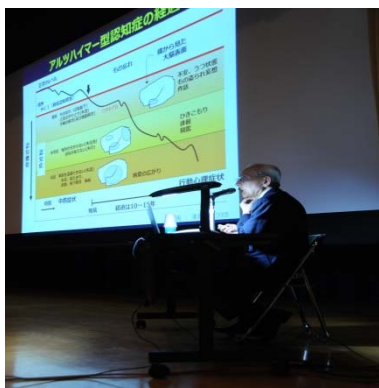


< 講演会 >

前橋市総合福祉会館 参加者448名

日本認知症ケア学会認定「認知症ケア専門士」制度は認知症ケアに対して優れた学識と高度の技能、および倫理観を備えた認知症ケア専門士を養成し、我が国における認知症ケア技術の向上ならびに保健・福祉に貢献することを目的としている。今回、群馬県認知症ケア専門士会でも講師の先生達より認知症ケア等に携わる人達が、自身のケアを振り返り、学び今後のケアに活かすことを目的とした。

- ・長谷川麻氏氏 認知症介護研究・研修センター 名誉センター長 聖マリアンナ医科大学名誉教授
「認知症とパーソンセンター・ド・ケア」
- ・小和田美晴氏 介護福祉士 グループホームあじさい 代表取締役社長 認知症介護指導者
「介護現場における適切なケア、不適切なケア」
- ・扇田孝行氏 介護福祉士 グループホーム アリス ホーム長 認知症介護指導者
「介護現場における人材育成」
- ・小此木清氏 (弁護士 弁護士法人龍馬ぐんま事務所)
「終末期医療における法的諸問題～高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドライン」



< 事例検討会 >

現場では、いろいろ困難な事例にぶつかり、何故ケアがうまくいかないのだろう、どうしたらよいか。もっと良いケアをしたいと悩んでいます。このような状況の時、事例検討会に参加することにより、きっとヒントが見つかるものです。

今回の検討事例は統合失調症・認知症・緑内障があり、(ほぼ失明状態で)精神的不安や混乱、自分の顔を叩く(自傷行為)・物を壊す・大声・職員を攻撃する(介護拒否)・食・物を要求し続けるなどの症状がある方です。事例を検討していく中で、利用者さんはなぜこのような行動を起こすのか、望むケアはどんなことなのか、皆さんと一緒に考えながら学んでいきます。

- 1 日時： 6月30日(日曜日) 13:30～15:30 (13:00開場)
- 2 会場： 前橋市総合福祉会館(旧前橋市女跡) 3階 第3会議室
前橋市日吉町2-17-10 TEL 027-237-0101
- 3 今回は統合失調症や認知症があり、自傷行為、介護拒否のある事例について検討します。
- 4 検討会の流れ： 統合失調症について福島富和氏による基調講演、事例説明、グループワーク、発表、まとめ、その後時間まで参加者の施設での困難事例のご相談をお受けします。
- 5 参加費：1,000円(受講料は当日受付にお支払い下さい)
- 6 定 員：30名(先着順)

平成28年4月8日

群馬県認知症ケア専門士会
会長 福島富和

群馬県認知症ケア専門士会から事例検討会のお知らせ

皆さまにおかれましてはますますご清祥にて、ご活躍のことと拝敬申し上げます。
さて、会場では、いろいろ困難な事例にぶつかり、何故ケアがうまくいかないのだろう、どうしたらよいか、もっと良いケアをしたいと悩んでいる方もいらっしゃると思います。
事例検討会に参加することにより、きっとヒントが見つかるものです。
今回の事例は統合失調症・認知症・緑内障があり、ほぼ失明状態で精神的不安や混乱、自分の顔を叩く(自傷行為)・物を壊す・大声・職員を攻撃する(介護拒否)・食・物を要求し続けるなどの症状がある方です。
事例を検討していく中で、利用者さんはなぜこのような行動を起こすのか、望むケアはどんなことなのか、皆さんと一緒に考えながら学んでいきます。
お問い合わせのうえ、是非ご参加ください、お待ちしております。

- 1 日時： 6月30日(日曜日) 13:30～15:30 (13:00開場)
- 2 会場： 前橋市総合福祉会館(旧前橋市女跡) 3階 第3会議室
前橋市日吉町2-17-10 TEL 027-237-0101
- 3 今回は統合失調症や認知症があり、自傷行為、介護拒否のある事例について検討します。

事例検討会の流れ： 統合失調症について福島富和氏による基調講演、事例説明、グループワーク、発表、まとめ、その後時間まで参加者の施設での困難事例のご相談をお受けします。

- 5 参加費：1,000円(受講料は当日受付にお支払い下さい)
- 6 定 員：30名(先着順) 申し込み締切日：6月15日(土曜日)
- 7 申込み方法： 郵送し FAX 027-237-0101 にお申し込み下さい

氏名	
連絡先	
職名	

群馬県認知症ケア専門士会事務局 知事：(237) 310-0023 前橋市日吉町 1-1
TEL 027-237-0101 Mail: cskn@npo.or.jp